研究タイトル：
DNA で解き明かす野生植物の現在・過去・未来



氏名：	南　淳　／　MINAMI Atsushi	E-mail：	minami@tsuruoka-nct.ac.jp
職名：	教授	学位：	博士（理学）

所属学会・協会：	日本植物学会、日本森林学会、日本生態学会
キーワード：	クローナル植物、エピジェネティクス、分子生態学、植物生態学、植物組織培養・細胞培養
技術相談 提供可能技術：	・分子生物学実験（遺伝子クローニングなど）・植物組織培養/細胞培養 ・分子遺伝学（分子マーカーの開発） ・生物化学的分析（酵素活性、生体物質定量、タンパク質精製）

研究内容：野生植物の生態の解明、および遺伝資源の利用と保全に向けて



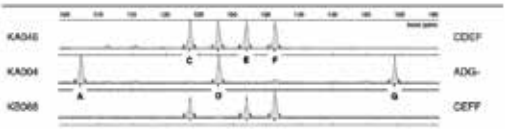


図1　地下茎で繋がったクローナル植物ヤブコウジの個体（ラメット）とその遺伝子型の解析



図2 ヤブコウジの無菌苗の育成とカルス誘導



（１）野生植物の集団遺伝学的解析

マイクロサテライトマーカーや次世代シーケンサーを用いた遺伝情報の解析手法により、植物の野外集団の構造や成り立ち、生態を研究しています。特に、栄養繁殖やアポミクシスなど無性生殖の植物集団における役割に注目しています。

（２）野生植物のエピジェネティクス

エピジェネティクスとは、DNA塩基配列の変化を伴わない、安定な表現型の変化を指します。植物集団におけるDNAメチル化などエピジェネティクスの役割について研究しています。

（３）野生植物の組織培養・細胞培養

有用物質の生産や、希少種の保全、有用品種の育種を目指して野生植物種の組織培養、細胞培養も手掛けています。

提供可能な設備・機器：

名称・型番（メーカー）	
サーマルサイクラー（Takara, Applied Biosystem）	
フローサイトメーター（BD）	
リアルタイム PCR 装置（サーモフィッシャー）	